

《短報》

山口県長門市で確認されたヒメヒライソモドキ

竹本理起

鹿児島大学水産学部, 〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20

はじめに

ヒメヒライソモドキ *Ptychognathus capillidigitatus* Takeda, 1984 は、モクズガニ科ヒライソモドキ属に属する小型のカニで、河口域の上流部、内湾の干潟の転石下に生息する(豊田, 2019)。大澤ら(2015)は本種の同属他種との区別について「眼窩外歯または前方の側縁歯間において甲幅が最大となり、甲は後方に向かって狭くなること、そして鉗脚の不動指と指節の先端近くに剛毛束を持つことにより、本種はヒライソモドキ属の他種から一見して区別できる」としている。

本種は、園山ら(2017)の文献調査に基づいた山口県産の甲殻類(異尾下目と短尾下目)のリストに掲載されておらず、さらに大澤(2022)は日本海沿岸では島根県のみで確認されていると報告している。

今回、山口県の日本海に面する長門市で本種の生息を確認したので報告する。

調査方法と生息地

調査は長門市河原の掛淵川と東深川の用水路で行った。感潮域の周辺で、直径6 cm から 50 cm 程度の転石をめくって個体を採集した。同定は大澤ら(2015)と豊田(2019)を参考に行った。採集した個体は70%エタノールで固定し、標本として作成した後、豊田ホタルの里ミュージアムに寄贈した。

以下に、採集記録を採集地、採集日(yyyy-mm-dd)、採集個体数の順に示す。

採集記録

ヒメヒライソモドキ *Ptychognathus capillidigitatus* Takeda, 1984 (図1)

長門市河原(図2-1), 2025-II-20 5 exs.; 長門市東深川(図2-2a, 2b), 2025-II-25 8 exs.



図1. ヒメヒライソモドキ(長門市東深川)
1. オス, 2. メス, 3. 幼体。



図2. ヒメヒライソモドキ生息地の環境写真

1. 長門市河原, 2. 長門市東深川 (a. 満潮時, b. 干潮時).

おわりに

今回の調査は冬季に行ったが、幼体を含むヒメヒライソモドキを多数確認できたことから、本種は長門市で越冬していると考えられた。また、長門市河原と東深川の両方の調査地で同属のタイワンヒライソモドキ *Pychnognathus ishii* Sakai, 1939 が生息していることも確認できた。

山口県はカニ類の調査が十分でなく、未だ記録・報告されていない種類が多数存在すると考えられ(園山ら, 2017)、今後の調査・研究で山口県のカニ類相の更なる解明が期待される。

引用文献

大澤正幸・桑原友春・倉田健悟 (2015) 汽水性短尾類 2 種の日本海沿岸からの新記録. ホシザキグリーン財団研究報告, **18**: 161-165.

大澤正幸 (2022) 「島根県の汽水域の短尾甲殻類 日本海西部の汽水域のカニたち」: p.63, 島根大学研究・学術情報本部エスチュアリー研究センター, 島根.

園山貴之・石橋敏章・本尾 洋 (2017) 鳥取県, 島根県, 山口県から既報の異尾下目と短尾下目. ホシザキグリーン財団研究報告, **20**: 85-94.

豊田幸詞 (2019) 「日本産淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑」: pp.302-303, 緑書房, 東京.